

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2031「会 30 周年記念山行」	
日 時 2024 年 02 月 18 日（日）晴・微風	
山 域 宇佐美・巢雲山（581m）	
コース 三島駅 7:05-熱海駅-宇佐美駅発 8:00-みかんの花咲く丘コース-どっこい処 9:30-大丸山（トラバース近道）-巢雲山（昼食・集会）10:40~13:20-生仏の墓-宇佐美駅 15:10-三島「はなの舞」懇親会 16:30~20:00	
標高差 宇佐美駅約 13m~巢雲山 581m=約 568m+70m	
データ 三島駅~宇佐美駅=510 円	
気持ち良い山頂で30周年を祝う	
ど〜が〜	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-41mp4%20(2).mp4
参加者	伊豆ハイク=野口、三島労山=高良・土屋・沼津=植松・遠藤、あさぎり=斎藤・富永・村上 安倍っ子山の会=増田 一般=9 名 麗峰=後藤・加藤・勝又・伊藤・山田敬・山田由・斎藤・北村・松永 会員=9 名

人間には、運・不運がある。天気だけは、天皇もどうすることも出来ない。土曜日までハッキリしない天気だった。しかし、どうだろう、当日は晴れて高温だった。

金がない山岳会は、屋内の集会が出来ない。なら山でどうだ。しかし、天気が問題。根拠はないが、絶対好天を信じた。



宇佐美駅



サクラ満開（北村撮影）

宇佐美駅から出発。電車は、「河津さくら」見学者で混んでいた。朝、多かった雲もとれ青空が覗いた。そして暑い。駅で「ももひき」を脱いだ。

「みかんの花咲く丘」コースを上る。途中の桜は満開を過ぎて、葉が出ていた。道路脇には、まるまる太った「フキノトウ」が早くも出ていた。例によってK姉御がパッパッパと摘み取った。

「どっこい処」着。暑い。大汗を掻いた。丁度、沼津 2 名、あさぎり 3 名の仲間が追い



さくら満開や

付いた。

「どっこい処」上で、大丸山に上っていない参加者は、そちらに向かい、「とん汁隊」は、時間がないので、近道のトラバース道を選択した。

巢雲山に着いた。三島労山・高良、土屋、静岡安倍っ子山の会・増田も丁度、逆コースでやって来た。これで参加者は全員揃った。

山頂の休憩ドームでとん汁に点火し、「北村酒店」ご用達の beer を参加者に振舞った。



巢雲山



「北村酒店」ご用達



とん汁



具沢山

重い Beer をご苦労様。

物凄い量の「とん汁」だった。具が鍋から溢れそうだった。空腹にサイコーの味だった。食事を終えて、集会に移った。

司会は、加藤。ただ、始まりの「黙とう」を忘れてしまい、途中で行った。トップは、会長の私が、会の歴史を披露。次に東ブロの伊豆ハイク、三島労山、沼津労山、あさぎり



麗峰・後藤（北村撮影）



伊豆・野口（北村）



三島・高良、土屋（北村）



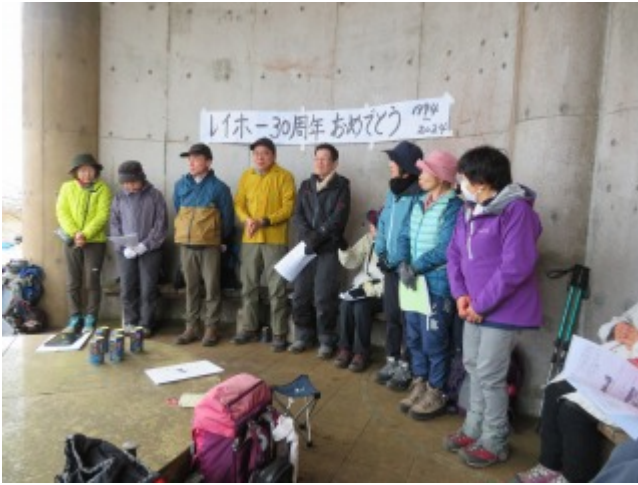
沼津・植松、遠藤



あさぎり・斎藤、富永、村上（北村）



安倍っ子・増田



麗峰参加者



司会者・加藤

山の会、静岡安倍っ子山の会、麗峰参加者が続いた。皆さんの熱い思いが、ヒシヒシと伝わり、嬉しい挨拶だった。有難う御座いました。

次は、車座になって山の歌。最初は「岳人のうた」、次は「山の子のうた」。この頃になると、かなりノリノリで、全員立って「スクラム」を組んで唄った。

次は、「長泉麗峰の歌」。これは冬の鹿島槍で作った歌だが、最後の部分は、自身の会の名称を入れて唄う形式に作ってある。最後は、「静岡県連の歌」で締めた。ただ、この山の歌、写真しかなく、動画の音声がないのは、いかにも残念だった。





スクラムで山の歌を合唱（北村）



下山（北村）



記念写真を収めて下山。三島、安倍っ子は、ミカンの花咲く丘コース、他は、生仏の墓コースだった。宇佐美から電車は、往路同様、「河津さくら」で、メチャメチャ混んでいた。

三島駅に帰着し、駅前の「はなの舞」で懇親会。13名参加した。料理は4000円だったが、結構良く満足した。ただ、いささか飲み過ぎで、翌日は辛かったですね。(笑い)

今回の30周年行事、皆様には、大変お忙しい中、お集まりくださり感謝に堪えません。会を代表して、厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。(敬称略)



三島「はなの舞」で懇親会（宴会全て北村）



山頂で記念写真「レイ・ホー」「レイ・ホー」「いいぞ・いいぞ」！！